

アイディアの神様

2023.8.1

4月に修学旅行に行った。2泊3日で関西方面に行った。京都、奈良、大阪だった。大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンにも行った。生徒は、楽しそうだったが、私の視点は、ちょっと違った。

南会津の中学校で教頭をしているときだった。修学旅行に行くことになった。当然、校長先生が団長として行くのかと思った。そしたら、「教頭先生が行くんですよ」と言われた。「えっ」どうやら、隔年で校長先生と教頭が交互に行っているらしかった。

2泊3日で関西方面だった。飛行機で福島空港から伊丹空港まで飛んだ。ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行った。生徒は大喜びだったが、平日でもあり、閑散としていた。テーマパークのような所は、人が少ないと寂しいものである。なぜ、人が少ないのか。あの頃のUSJは元気がなかった。

ところが、今回は、平日など関係なく大盛況だった。なぜ、そうなったのか。USJがV字回復を成し遂げていたからである。そこには、一人の人物の存在があった。森岡毅氏である。肩書きが、戦略家・マーケターとなっている。2010年にUSJに入社した。革新的なアイデアを次々投入し、窮地にあったUSJをV字回復させた。現在、沖縄テーマパーク構想に着手している。

森岡氏は、数々の苦難を乗り越え、組織を再生させてきている。森岡氏は、次のように話している。

新しい企画がこの日までに思いつかなかったら会社が倒れる。そういう状況にいつも追い込まれていましたから、私はいつの間にか寝ても覚めてもアイデアを考えるようになっていました。目を瞑るギリギリまで考えて、目を開けた瞬間から考えていると、しまいには目を瞑っている間も考えるようになるんです。

夢の中でうなされたことは何度もあります。あるときは、夜中に息苦しくて目を覚ましたら、口の中から出血していた。寝ているときに自分の舌を思いっきり噛んでいたんです。本当に必死の毎日でしたね。

ただ、人間って不思議なもので、そうやって追い詰められて重圧がかかると、自分自身も意識していない遺伝子が目を覚まして、とんでもない能力が覚醒したり、アイデアの神様が降りてくることがあるんです。ある問題について、地球上で最も必死に考えている人のところにアイデアの神様は降りてくる。これは私の実感ですね。

修学旅行で、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンにいながらも、森岡氏のことを考えていた。USJで見ることができる大勢の楽しそうな笑顔の陰には、森岡氏の存在があったのである。アイデアの神様はいるのである。